

# 小・中学校教育ネットワークプラン事業

## 義務教育課

今日の学校教育においては、「学ぶ意欲」や「社会の変化に主体的に対応できる能力の育成」「個を生かす教育の充実」とともに「基礎的・基本的な内容の徹底」等を充実していかなければならない。

特に、基礎的・基本的な内容が重要であるのは、子供たちが新しい学習を創造的に進めていくために必要であるという考えに基づくものである。

この基礎的・基本的な内容とは、子供たちが主体的に学習し、生きていくために必要となる「関心・意欲」や「思考力・判断力・表現力」及び「知識・理解・技能」などの資質や能力ととらえて、それらの諸能力の育成に努めることが必要となる。

県教育委員会では、平成四年度から三カ年計画で小・中学校教育ネットワークプラン事業を策定し、新しい学力観に立った真の学力を身につけた児童生徒の育成を目指し、その成果を県内の各小・中学校に普及させ、本県の児童生徒の学力向上をねらって、県内七地区を「小・中学校

学習指導法改善研究推進地区」として指定し、研究実践を展開してきた。この事業の主な内容は、次の通りである。

一、当該市町村教育委員会を中心とした学力向上対策会議を設置し、中学校を核とした周辺小学校及び高等学校との連携により、趣旨の実現に向け指導援助を行う。

### 二、研究実践の内容

- (一) 小・中・高等学校の連携による合同授業研究会の開催
- (二) 小・中・高等学校の一貫した指導計画の作成と、授業実践及びその成果の普及
- (三) 学力診断テストの実施と変容調査
- (四) 学力向上先進地区の視察
- (五) 調査研究報告書の作成と配布
- (六) 各種研修会等での普及啓発活動
- (七) 推進地区相互の連絡協議会の開催

### 研究推進地区名及び研究主題

研究推進地区	研究推進校	研究主題名
安達町(県北)	油井小・渋川小・上川崎小・下川崎小・安達中	○ 真の学力向上のための学習指導法の改善
小野町(県中)	飯豊小・浮金小・小戸神小・小野新町小・夏井第一小・夏井第二小・浮金中・小野中	○ 自ら学び、確かな学力を身につける児童・生徒の育成
東村(県南)	釜子小・小野田小・東中	○ 児童・生徒及び地域の実態に即して、基礎学力の向上と定着を図るための研究
河東町(会津)	河東第一小・河東第二小・河東第三小・河東中	○ 新しい学力観にねざした学習指導法の改善 — 自ら意欲的に学ぶことによって思考力・表現力を伸ばす指導のあり方の探究を通して —
田島町(南会津)	田島小・田島第二小・田島中	○ 新しい学力観に立った学習指導法の改善研究 — 個性や基礎・基本を重視して —
富岡町(相双)	富岡第一小・富岡第二小・富岡第一中・富岡第二中	○ 新しい学力観に立って、一人一人を生かす学習指導の改善
内郷地区(いわき)	白水小・内町小・宮小・内郷第二中	○ 新しい学力観に基づいた学力の向上をめざす児童・生徒の育成 — 小・中・高校の連携を通しての学習指導法の改善 —

最終年度にあたり、各推進地区では合同授業研究会や自主的に公開発表会を開催し、活発に研究の深化を図っているが、紙面の都合上、河東町地区の研究の概要を紹介するの

### 研究実践

共通研究主題  
「新しい学力観にねざした学習指導法の改善」  
— 自ら意欲的に学ぶことによつて思考力・表現力を伸ばす学習指導のあり方の探究を通して —

- 河沼郡河東町立河東第一小学校
- 河沼第二小学校
- 河東第三小学校
- 河東中学校

### ◇ 研究内容及び方法

- 研究の方針  
小・中学校教育ネットワークプラン事業指定の趣旨にそつた研究とする。
- 理論研究をふまえ、生徒指導の機能を十分に生かし、授業をととした実践研究を中心に進め、授業の質的改善をめざすとともに、学力向上に資する研究とする。
- 研究内容  
研究対象学年は小・中学校とも全学年とし、研究教科は次のようにする。

- 小学校：国語・算数の二教科
- 中学校：国語・社会・数学・理科・英語の五教科
- 小・中学校教育連携（ネットワーク）のための具体的な研究内容